

10

2024 vol.282

組合等活性化情報誌

へんしも

情報誌

Contents

- 1 おらんくの組合(高知県種苗緑化協同組合)
- 3 チラシやホームページ作成費用等を助成します!
諸制度の改正・インボイス対応に関する支援事業のご案内
- 4 「共働き・共育て」推進のこうち共同宣言
- 5 男性の育児休業支援施策一覧
- 7 高知県最低賃金が改定されます
無料合同労働相談会開催のお知らせ
- 8 高知働き方改革推進支援センターからのお知らせ
- 9 受けよう! がん検診
- 10 組合いんふおめーしょん
- 11 Pick up! 先進組合
(協同組合日専連しもだて/本場さぬきうどん協同組合)
- 13 県内各業界動向(2024年8月)

人を継ぎ、組織を育む ^{つな}高知県中小企業団体中央会
URL <https://www.kbiz.or.jp> E-mail info@kbiz.or.jp

ウエブでも
へんしも!

これまでの記事は
こちらから →





今月の組合

高知県 種苗緑化協同組合



理事長 山崎 純平氏

<組合プロフィール>

所在地: 香美市土佐山田町神母ノ木
字鹿落159番地1

設立: 昭和60年3月

組合員数: 108名

主な事業:

- ・ 組合員の取り扱い種苗の共同販売
- ・ 組合員の種苗生産に必要な資材等の共同購買
- ・ 組合員の事業に関する経営及び技術の改善向上又は組合事業に関する知識の普及を図るための教育及び情報の提供

一本の苗木から始まる豊かな森林が 緑とともに暮らす 持続可能な社会を創出

山林種苗で日本一の 森林県を支える

当組合の前身は、山林種苗生産者で組織された「高知県山林種苗生産農業協同組合」で、昭和36年より県内の山林種苗の生産、販売の拠点として活動を続けてきました。高度経済成長期には全国で都市や道路の開発が進み自然が失われていく中で、緑化に対する社会的要請が高まってきました。そこで、昭和60年、組合を解散し、山林種苗生産者だけでなく、新たに緑化樹木生産者と、種苗・緑化樹木の需要者でもある森林組合、造園建設事業者をメンバーに加え、広く緑化関係者の相互利益の向上を図ることを目的に、改めて「高知県種苗緑化協同組合」として設立しました。以来、山林種苗等の共同販売と生産の指導、種苗・緑化関係資材の共同購買を実施し、県内における種苗・緑化の総合機関として活動を続けています。

本県の広大な森林が、今後も緑豊かで健

全な姿を維持していくためには、優良な山林種苗の安定供給が求められます。そのため、設立当初より計画的な生産と組合員に対する適正な指導を積極的に行っています。また、緑化木も含めた集出荷センターとしての機能を発揮したいとの思いから、常に組合が生産者組合員と需要者組合員との仲介役となり、相互の便宜と利益の向上を目指しての活動を心がけています。

その他、県や市町村、森林組合などで構成される(公社)高知県森と緑の会のメンバーとして、募金活動や各種イベントを通じて県土の緑化の普及啓発にも取り組んでいます。



▲クヌギの苗木

優良種苗の安定供給により、再生可能な社会の実現へ

戦中・戦後の日本では、軍需物資等としての木材需要や復興需要の急増により大量の森林が伐採されました。そこで緊急増伐が行われた伐採跡地等へ植栽を行う「拡大造林政策」が実施され、スギやヒノキ、カラマツ、アカマツなど、成長の早い針葉樹が植林されるいわゆる「戦後植栽」が実施されました。現在では、このような人工林が成熟し収穫期を迎え、国産材時代を迎えています。その一方で花粉症に苦しむ人々が増え始め、国産材の供給量が拡大しているにもかかわらず、主伐後の再造林が伸び悩むこととなり森林の循環利用のみならず、2050年カーボンニュートラルの実現にも影響を与える事態となっています。

こうした問題を解決するため、国や県がスギ・ヒノキの花粉が少ない品種を開発し、増産に取り組んでいます。本県ではまだまだ普及していないため、少花粉スギの種を増やすための取組みとして、県が採種園を整備し、当組合で剪定や採種を行っています。花粉発生量の半減を目指し、官民協働で花粉発生源対策に積極的に取り組んでいます。

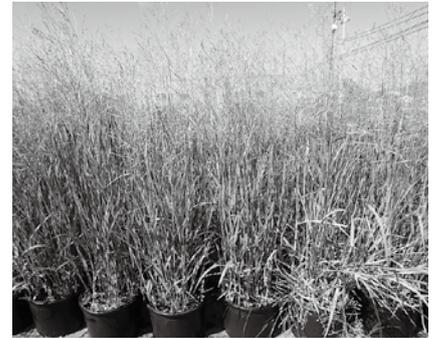
また、森林の伐採跡地が放置されるケースも増えてきており、これは山々の保水力

低下による災害にも繋がってしまう恐れがあるため、当組合としては速やかに植栽が行われるよう、関係機関への働きかけを続けています。森林環境の保全には、伐採と植栽のバランスが取れていることが重要なので、この円滑な循環こそが災害や地球温暖化の防止に繋がっていくものと確信しています。

さらに、優良な種苗の安定供給のため、勉強会も積極的に行っています。当組合が主体となり、全国各地の種苗組合や種苗生産業者を訪問し視察や意見を交わしたり、組合員間でより効果的な栽培方法などについても情報交換を行っています。組合からの情報提供や栽培指導はもちろんのこと、切磋琢磨してきた結果、本県の種苗は品質・生産量ともに高めることができおり、全国的にも高い評価を得ています。

森林産業の持続的な発展を目指して

森林に対する社会の関心やその重要性の認識は、かつてない程高まっていますが、林業をめぐる状況は依然厳しく、今後はかつてのような大規模な植栽が行われる方向にはないので、山林種苗の需要は長期的にみると縮小すると思っています。しかしながら、山林種苗の生産は国土の保全と森林資源の再生産にとって欠かすこ



▲カレックスの苗木

とのできないものであり、今後とも優良な苗木の生産技術の継承と後継者の育成に力を入れ、安定供給ができる体制づくりに努めていきたいと考えています。2028年には、本県では50年ぶりとなる「全国植樹祭」が開催されることとなりました。このイベントを通じて、森林県である本県の魅力を全国にお伝えできるよう関係機関と連携した取組み、また組合の事業活動についても一層精進してまいります。

「育てて、伐って、使って、植える」という森林資源の循環サイクルの一端を担う当組合としては、品質の保証された苗木を安定的に供給するという使命感を持ち、公益機能の高い森づくり、緑豊かな街づくり・地域づくりを積極的に提唱し、参画していきたいと思えます。それが、豊かな緑とともに、健康で安心して暮らすことのできる環境を次世代へ引き継ぐことに繋がれば幸いです。

知これ
HENSIMO
Information
つつちよいて

幼木保護具「くわれんにゃー」

当組合では、野ウサギの食害による被害から幼木を守るための保護具「くわれんにゃー」の製造・販売を行っています。

スギ・ヒノキだけでなく多くの樹種に対応ができ、素材にパームヤシ皮を使用しているので使用後の回収が不要であり、軽量且つシンプルな構造で設置作業が簡単にできることが特徴です。

まだ実績が少なく、この先の経過を見ていかなければなりません、この幼木保護具が再造林地にお役に立てることを願っています。

この幼木保護具にご興味がありましたら、お気軽に当組合までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】高知県種苗緑化協同組合 TEL: 0887-53-4161



組合や組合員の魅力を発信するための チラシやホームページ作成費用等を助成します!

～取引力強化推進事業～

応募
受付中

事業概要

組合や組合員の「経営基盤の強化」を目指した「共同事業の活性化」、「受注拡大」等の「取引力の強化促進」を図るために実施する取り組みに対して助成します。

応募受付

随時受付※受付締切は11月29日(金)

※応募受付ごとに、審査・採択を行い、予算枠に達した時点で終了となります

対象組合

構成員の2分の1以上が小規模事業者(※)である組合及び企業組合等
(※)常時使用する従業員の数が20人(商業又はサービス業を主たる事業とする事業者については5人)以下の会社及び個人

補助金額・補助率

補助金額 【上限】50万円 【下限】10万円

補助率 3分の2以内



詳しくはコチラ!

お問い合わせ先

高知県中小企業団体中央会(担当: 武田  高瀬 )

TEL:088-845-8870 E-mail:takeda@kbiz.or.jp

諸制度の改正・インボイス対応に関する支援事業のご案内

諸制度の改正への対応や新制度の活用を後押しします! (制度改正等の課題解決環境整備事業)

制度改正・新制度施行の周知をはじめ改正事項への対応を促進する講習会開催、個別の相談に対して専門家派遣による助言を行っています。利用は無料ですので、お気軽にご相談ください。

制度
対応例

事業承継 事業承継ガイドラインを踏まえ、早期承継への備えを啓発するセミナー

中小企業の強靱化 事業継続力強化計画の認定、事業継続計画(BCP)策定に係る経営コンサルタントのサポート

労働法制 働き方改革関連法(60時間超の時間外労働の割増賃金率引き上げなど)対応への社会保険労務士の助言

DX推進 デジタル化のためのITコーディネーターによる助言

インボイス制度への対応を支援します! (事業環境変化対応型支援事業)

昨年10月1日から始まったインボイス制度にかかる実務面での対応、課題等に対処するための講習会開催、個別の相談に対して専門家派遣による助言を行っています。利用は無料ですので、お気軽にご相談ください。

活用
事例

**専門家派遣の
テーマ**

1. 立て替えインボイスの概要と事務処理について
2. 2割特例の概要と適用要件、期間等について

お問い合わせ先

高知県中小企業団体中央会(担当: 山本雄司 ) TEL:088-845-8870 E-mail:yamayu@kbiz.or.jp

「共働き・共育て」推進のこうち共同宣言を行いました

本会では、9月2日(月)、高知県、高知市長会・町村会、高知労働局と、高知県商工会議所連合会、高知県商工会連合会をはじめとする16の業界団体等、合わせて20者の連名による『「共働き・共育て」推進のこうち共同宣言』を行いました。

この共同宣言は、すべての人が希望に応じて家庭でも仕事でも活躍し、男女間で負担を分かち合う「共働き・共育て」の生活スタイルを“オール高知”の県民運動として推進することで、本県の人口・出生数の増加に寄与することを目的としたものです。

共同宣言式には、本会から久松会長が出席し、以下の共同宣言書に署名を行いました。



「共働き・共育て」推進のこうち共同宣言

本県の総人口は昭和60年以降減少を続けている。また、昨年の出生数は、過去最少であった一昨年からさらに300人以上下回る3,380人となるなど、大変厳しい状況にある。

その最大の要因は若者、特に若い女性の減少にあり、これをできるだけ早期に食い止め、持続可能な人口構造へ転換するために、県では、「高知県元気な未来創造戦略」を策定し、各施策を抜本強化して取り組みを進めている。

出生数の増加を後押しするとともに、若者、特に若い女性に高知を選んでもらうためには、「家事・育児は女性」という固定的な性別役割分担意識を解消し、家事・育児に係る女性の負担を軽減する必要がある。

地域社会や職場において固定的な性別役割分担意識を解消していくためには、行政だけでなく、企業や団体、県民の皆さんの参画が不可欠である。

このため、すべての人が希望に応じて家庭でも仕事でも活躍できる高知を目指し、男女間で負担を分かち合う「共働き・共育て」の生活スタイルをオール高知の県民運動として推進するため、下記のとおり宣言する。

記

1 男性の育児休業取得率向上に向けた機運の醸成

「男性が育児休業を取得するのが当たり前の高知」を目指し、トップ自らが男性の育児休業取得の意義や、家事・育児を共に担うことがもたらす効果を伝えるなど、職場全体で機運の醸成を図ります。

2 男性の育児休業取得率向上に向けた職場環境整備の推進

男性の育児休業の取得を促すため、対象者に対し、支援制度の情報提供や、上司による積極的な声かけ等を行うとともに、業務分担の見直しや代替要員の確保などにより、取得しやすい職場環境の整備を推進します。

3 仕事と家庭の両立支援を通じた県内企業等の魅力向上

男性の育児休業取得率向上を図るとともに、テレワークやフレックスタイム制などの柔軟・多様な働き方の推進に取り組み、仕事と家庭を両立しやすい職場づくりを進め、県内企業等の魅力向上を図ります。

令和6年9月2日

男性の育児休業を当たり前!

男性の育児休業取得を促進する企業等を後押しする施策をご紹介します。
詳細は各担当部署へ、お気軽にお問い合わせください。

代替職員を確保したい

男性育児休業取得促進事業費補助金

男性従業員の育児休業に係る代替職員の確保(派遣も含む)に要する費用の一部を助成します。

<補助要件等>

- ▶一般事業主行動計画の策定
- ▶男性の育休取得率50%以上の目標を設定、公表

子育て支援課/子育て支援担当 TEL:088-823-9641

育休が取れる環境を整えたい

働きやすい環境整備事業費補助金

働く意欲のある人が、適材適所で活躍できるような環境整備(ハード事業・ソフト事業)を行う中小企業を支援します。

<補助要件等>

- ▶県内に本社または主たる事業所を有する中小企業等
- ▶補助率2/3以内又は定額(ハード整備:上限600万円、ソフト事業:上限10万円)



高知県ワークライフバランス推進企業認証制度

仕事と育児の両立などワークライフバランスの推進に積極的に取り組む企業を『高知県ワークライフバランス推進企業』として認証します。



雇用労働政策課/働き方改革担当 TEL:088-832-9764

林業の労働環境を改善したい

林業労働環境改善事業

育休制度の活用推進など、林業事業者が行う労働環境改善の取組みを支援します。

<補助要件等>

- ▶県が認定する林業事業者であること
- ▶補助率1/2以内、上限50万円

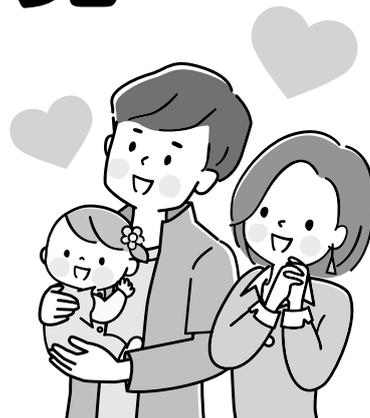


森づくり推進課/担い手対策担当 TEL:088-821-4571

高知県の支援施策一覧

高知県の調査では、就学前の子育て家庭の女性は男性の約3倍もの時間を家事や育児に費やしています。出産後も、女性が能力や意欲を生かせる環境が必要ではないでしょうか。

女性も仕事でやりがいを感じることができ、男性も育児の喜びを感じることができる。そんな、誰もが仕事でも家庭でも活躍できる、充実した生活を送ることができるようにするため、まずは男性の育児休業を当たり前に行えるよう、取組みを進めています。各種支援制度について積極的に活用し、実績をPRすることで、人材確保にもお役立てください。



親になる社員の仕事と家庭の両立を応援したい

未来のパパママ共育て講座(出張講座)

現在妊娠中または配偶者が妊娠中の従業員の方を主な対象に、仕事と家庭の両立に焦点をあてて、制度の内容や活用方法、配偶者との協力の大切さなどをお伝えします。



未来のパパママ共育て講座事務局(委託先) TEL:088-872-7795

社員のアンコンシャス・バイアスの解消を図りたい

こうち男女共同参画センター「ソーレ」無料出前講座

「アンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)を知ろう!」「ジェンダー及び性別役割分担意識を学ぶ」などのテーマで、無料で講師を派遣します。



こうち男女共同参画センター「ソーレ」 TEL:088-873-9100

男性育休の取組みを社内外にPRしたい

KOCHI Work Style Award2024

働き方改革に積極的に取り組む県内企業の優良事例を表彰します。今年度から男性育休推進部門を創設し、男性育休に積極的に取り組む企業についても表彰します。(令和7年2月予定)



雇用労働政策課/働き方改革担当 TEL:088-832-9764

男性育休の実績で入札参加資格審査に加点

令和7年度建設工事競争入札参加資格において評価点10点を加点

<加点対象>

基準日以前5年以内に、男性の育児休業取得者(14日以上)がいる事業者 ほか

土木政策課/建設業振興担当 TEL:088-823-9815

高知労働局からのお知らせ

高知県最低賃金が改定されます！

令和6年10月9日から

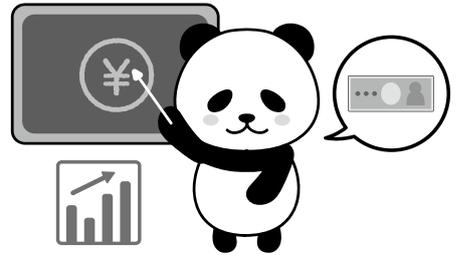
(時間額)

952円

★高知県最低賃金は、産業や職種にかかわらず高知県内の事業場で働くすべての労働者（臨時、パートタイマー、アルバイト等を含む）と労働者を一人でも使用しているすべての使用者に適用されます。

★最低賃金の対象となる賃金には、

- ①臨時に支払われる賃金
- ②1か月を超える期間ごとに支払われる賃金
- ③時間外、休日労働等に対して支払われる割増賃金
- ④精皆勤手当、通勤手当及び家族手当は含まれません。



お問い合わせ先 高知労働局 賃金室 高知市南金田1-39 TEL:088-885-6024

高知県労働委員会事務局からのお知らせ

無料合同労働相談会を開催します

「職場でパワハラを受けている」、「退職させてもらえない」、「突然解雇された」といった職場の様々な問題でお悩みの方を対象に、国や県などの労働相談機関等が無料で相談会を開催します。

当日は、弁護士、司法書士、社会保険労務士や行政機関の労働相談員といった専門家が面談又は電話により相談に対応しますので、お悩みの解決に向けたアドバイスを受けることができます。事業主の方の相談もお受けしますので、お気軽にご相談ください。

相談日時 10月25日(金) 10:00～17:00

予約受付期限 10月22日(火) 17時まで

面談場所 高知県庁北庁舎(高知市丸ノ内2-4-1)
※受付は4階、高知県労働委員会事務局で行います。

当日専用相談ダイヤル 088-821-4661
※相談は事前予約優先、先着順です。

予約申込み・お問合せ
高知県労働委員会事務局 TEL:088-821-4645

この他、高知県労働委員会事務局では、随時ご相談をお受けしています。

メリット1 通常の定期預金より
高めの金利設定
※当金庫内比較

メリット2 固定金利の半年複利で
効率よく資産運用

メリット3 ライフスタイルに合わせて
選べる期間1年・2年・3年
※原則として満期前日の解約はできません。

個人のお客さま向けの
定期預金

マイナーベスト

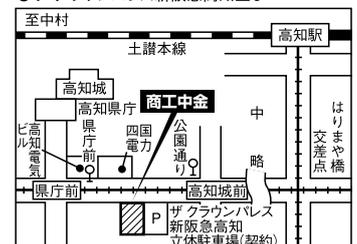
※詳しくは、店頭チラシまたはホームページをご覧ください。

商工中金

高知支店 088(822)4481

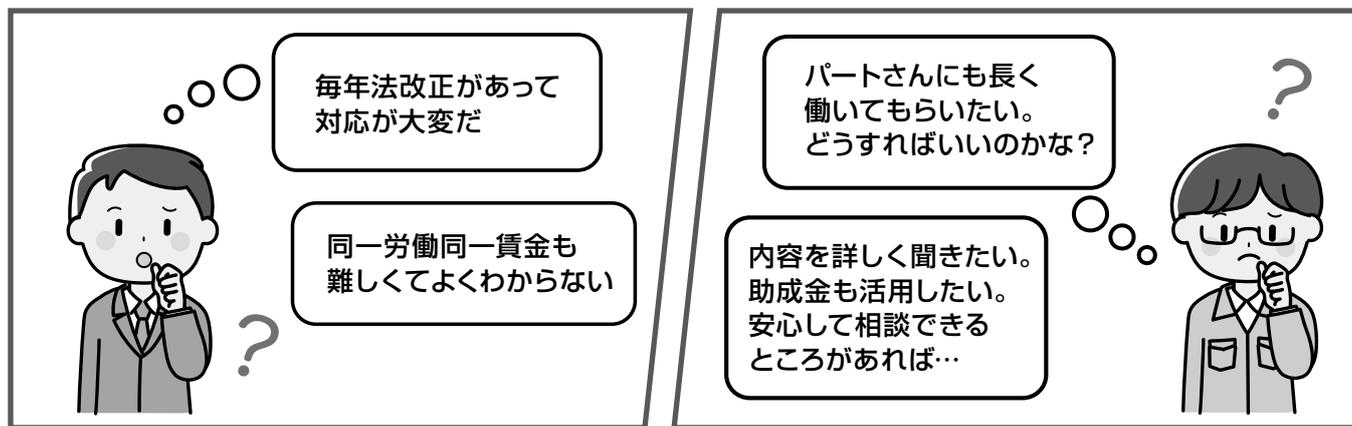
〒780-0870 高知市本町4-2-46

●ザ グラウンパレス新阪急高知並び



“あなたの会社、事業所の働き方改革” を応援します

高知働き方改革推進支援センター



そんな時は
高知働き方改革推進支援センター
にお任せください！

労務管理に精通した社会保険労務士が
個別に支援いたします！

就業規則の見直し、36協定、賃金制度全般、
育児・介護制度の整備、ハラスメント防止、
職務分析・職務評価などもお気軽にご相談ください。



秘密
厳守！

相談・
専門家派遣
無料！

相談 方法

- 1 訪問コンサルティング（ご都合のよい日時に合わせます）
- 2 電話・メール・来所
- 3 オンラインコンサルティング

お問い合わせ先 高知働き方改革推進支援センター

高知市南はりまや町2丁目3-10 ア・ラ・モードはりまや103号
開所日時：9:00～17:00（土・日・祝日、年末年始除く）

◆TEL **0120-899-869**

◆E-mail hk39@mb.langate.co.jp

◆HP <https://hatarakikatatakaikaku.mhlw.go.jp>

※相談窓口（四万十地域）も毎週水曜日に開催しています。
詳しくはHPをご確認ください。



高知県
からの
お知らせ

受けよう! がん検診

日本では2人に1人ががんにかかるといわれ、高知県ではがんになった方の4人に1人が仕事をやめています。

日本人の死因第1位はがんです。高知県においても同じ状況であり、1年間に亡くなる方の4人に1人はがんで亡くなっています。がんは誰もがなる可能性がある病気ですが、早期発見、早期治療による生存率は90%以上です。がんを早期発見するためには、定期的ながん検診が大切です!



市町村で実施しているがん検診なら、お安く複数の検診が一緒にできます

検診種類	対象者	検診間隔
胃がん	内視鏡	50歳以上男女
	X線	2年に1回
肺がん	40歳以上男女	毎年
大腸がん		
乳がん	40歳以上女性	2年に1回
子宮頸がん	20歳以上女性	

検診種類	市町村で受診	医療機関で受診
胃がん	内視鏡	17,000円程度
	X線	
肺がん	0~400円程度	4,600円程度
大腸がん	0~800円程度	4,900円程度
乳がん	0~1,000円程度	8,500円程度
子宮頸がん	0~1,500円程度	6,900円程度

がん検診について、各市町村のお問い合わせ先は、専用ホームページからご確認くださいませ ▶
<https://gankenshinkochi.com/>

高知県がん検診
専用サイト



「がんであるかは、精密検査を受けないとわかりません!」

※検診を受けることで、がんの疑いがあるか(=要精密検査)、がんの疑いがないか(=精密検査不要)がわかります。がんであるかないかは精密検査を受けることで初めてわかります。

高知県中央会HPでも「へんしも情報」が読めます!



スマホ
でも

組合員への共有も、URLや
二次元コードを送るだけで楽々!



PC
でも



バックナンバーも掲載!

(二次元コード)

▼HPからのチェックはこちらから
<https://www.kbiz.or.jp/henshimo>
 高知県中央会ホームページにアクセスして
 【中央会情報誌「へんしも情報」】のバナーから
 ご覧になれます!



マングローブの森づくり。
それは、豊かな地球を
未来に届けること。

マングローブ植林は「地球の未来にかける保険」です。
これからも、ともに未来へ。

マングローブ価値共創100年宣言



東京海上日動

www.tokiomarine-nichido.co.jp

To Be a Good Company



帯屋町一丁目商店街振興組合

「おまちで発表会」を開催します!

帯屋町一丁目商店街振興組合(文野達朗理事長)では、キッズから大学生によるダンス、音楽演奏などのパフォーマンスや、地域クラブによるグッズ販売等を行う「おまちで発表会」を開催します。

当日は、アーケード内に簡易ステージや個別ブースを設置し、それぞれの活動PRをしていただく予定です。

日頃から頑張っているお子様たちの笑顔が溢れるおまちに、皆様揃ってお出かけください!



日時 10月13日(日)12:00~17:00

場所 帯屋町一丁目商店街アーケード内

内容 ●ステージ

楽器演奏、演劇、キッズダンス、学生パフォーマンス等

●個別ブース

県内で活動する子供向けクラブやサークルの紹介

【お問い合わせ】 帯屋町1丁目青壮年会 TEL:088-824-8830



高知県商店街振興組合連合会

よさこい四万十視察&西部交流会を開催しました!

高知県商店街振興組合連合会(廣末幸彦理事長)では、去る9月15日(日)、よさこい四万十の視察と西部交流会を開催しました。

この交流会は、例年、よさこい四万十にあわせて実施しているものであり、当日は、高知市及び四万十市の商店街関係者のほか、土森正一高知県議会議員や佐田博中村商工会議所会頭など約20名が参加。

よさこい踊りを楽しんだ後、交流会において、それぞれの商店街の現況や今後の取組み等に関する情報交換が行われました。



▶ SDGsを通じて地域に根差したまちづくりを実現し、新たな消費者層を獲得。

茨城県 協同組合日専連しもだて

【所在地】茨城県筑西市丙88 【TEL】0296-24-5578
 【組合員数】18組合 【出資金】24,070千円
 【URL】<https://nissenren-shimodate.com/>

■背景・目的

商業環境の変化で、街の商店では消費者離れが加速。売上が減少した組合員店舗は組合脱退や廃業を選択するなど、組合員は年々減少し、新たな取組みが求められていた。そこで、組合活動とSDGsを紐づけ「日専連しもだてSDGs宣言」を行い、ホームページのリニューアルやチラシで情報発信を強化。組合の魅力や若い世代に発信することで組合の知名度向上と各個店の集客力増加を図り、地域に根差した持続可能な社会・まちづくりの実現を目指した。

■事業・活動内容

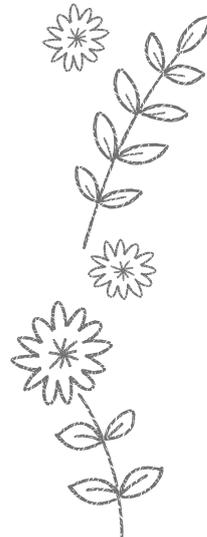
令和4年12月に「地域密着」「社会貢献」「社会課題解決」「環境」を柱に、地域に根差した持続可能な社会の実現を目指し、「日専連しもだてSDGs宣言」を行った。

組合と組合員の魅力ある活動を、地域の人々に広めるため、予てより行っていた取組みをSDGsで掲げる17の目標と紐付けし、衣料品のリサイクルやリユース、多様性を尊重した制服の提案など地域密着だからこそできるサービスについて、環境や社会貢献に関心の高い世代をターゲットに、ホームページと約5,500人のフォロワーがいる組合のSNSで紹介した。また、SNSのフォロワー以外の消費者層にも、SDGsへの取組みを広く分かりやすく伝えるためチラシを作成し、組合が運営するカフェがある「しもだて地域交流センターアルテリオ」や市役所等にチラシを設置し、当組合の取組みに関する情報を発信した。宣言後、組合が運営する「カフェブリーズ」では「人から人へ応援プロジェクト」を立ち上げた。このプロジェクトでは、学生をサポートするために一般の利用者が200円で「ハートフルチ

ケット」を購入し応援メッセージとともに掲示。学生は掲示されたチケットをドリンクと交換することができる。さらに、学生向けに「カフェ勉」というサービスを開始し、ドリンクを半額で提供することで、学生の利用が増加するなど、SDGs宣言で掲げた内容を念頭に組合事業を展開している。

■成果

SDGs宣言を通じ、組合員の意識に変化が生まれ、カフェの取組みにつながった。「カフェブリーズ」にて行われた「人から人へ応援プロジェクト」は、学生と地域住民の絆を深めるきっかけとなり、カフェの利用者が増加した。組合と組合員店舗の知名度が向上し、若い世代との継続的なコミュニケーションが確立されることで、地域の未来を担う新しい顧客層の獲得が期待できる。



▶ 年明けうどんを新たな食文化として、全国的な普及、浸透を図る。

香川県 本場さぬきうどん協同組合

【所在地】香川県高松市宮脇町一丁目8番21号 【TEL】087-831-7492
 【組合員数】58組合 【出資金】3,972千円
 【URL】<https://www.honba-sanukiudon.jp/>

■背景・目的

本場さぬきうどん協同組合は、さぬきうどんのPR強化、イメージアップを図るために普段より活発な活動を展開している。今回は、「年明けうどん(純白な麺に紅いトッピングを添えた紅白のうどんを年の初め(1月1日~15日)に食べることで、その年の幸せを願うものと定義する)」の全国的な普及、浸透を図るための活動を取り上げる。

■事業・活動内容

当該活動は、正月明けにうどんを食するという習慣を「年明けうどん」として、年越しそばに並ぶ、新たな食文化として確立するという目的を持つ。そのために、組合では、香川県庁の記者クラブに対して、イベント等の各種のプレスリリースを行ってきたが、最近では、マスコミに取り上げられる率がかなり高い。その主な理由は、2011年11月の「うどん県。それだけじゃない香川県」プロジェクトの開始により、香川県庁の姿勢が、それまで市井のものとしてあまり価値を認識していなかったうどんを、キラコンテンツに育てるように変わったか

らである。ただし、記者クラブと一口に言っても、記者は数年で配置替えがあるため、新たに人間関係を構築したり、基本知識をレクチャーしたりするのに手間を取る。一方、カメラマンは長年在籍していることが多く、マスコミをスムーズに活用するためには、カメラマンを味方につけるべきだということである。また、県庁担当課とも良好な関係を継続できているが、これについても背景は同様な理由による。しかし、2012年より継続開催されている「全国年明けうどん大会」は、主催は香川県であるものの、組合の全面的な協力なしには成り立たないイベントである。そして、この大会の開催は、全国への年明けうどんの普及、浸透について、大きな推進力となっている。

■成果

現時点では、年越しそばに並ぶとまではいかないが、一般人でも年明けうどんを相当程度認知しており、また、実際にある程度までは年明けにうどんを食べることもされており、目標はある程度達成された



いてよい。当該活動についてのキーパーソンは、現理事長である。しかし、高齢でもあり、理事長の持つ豊富なノウハウや思いを引き継ぐ人材が必要である。このことについては、二代目、三代目の代替わりした組合員において、積極的に関与していく姿勢が見受けられるとのことであり、大いに期待を寄せる。

お客さまの笑顔の花を咲かせるしごとです。

お金のこと、経営のことのほかにも、デジタル化の推進や事業承継など、さまざまな経営課題に対してその道のプロフェッショナルが解決策を提案します。信用保証協会では、経営の「今」を全力でサポートします。

高知県信用保証協会

〒780-0901 高知市上町3丁目13番14号
 TEL 088-832-3261 FAX 088-822-7069
 URL <http://www.kochi-cgc.or.jp/>

dot.com BANK | 未来ファクトリー |

お客様のより良い未来を創造する「未来ファクトリー」。ソーシャルインフラを創造する「未来ファクトリー」。県民の皆さんの幸せを願うしごと。安全・安心にお応えできる金融サービスをお届けします。

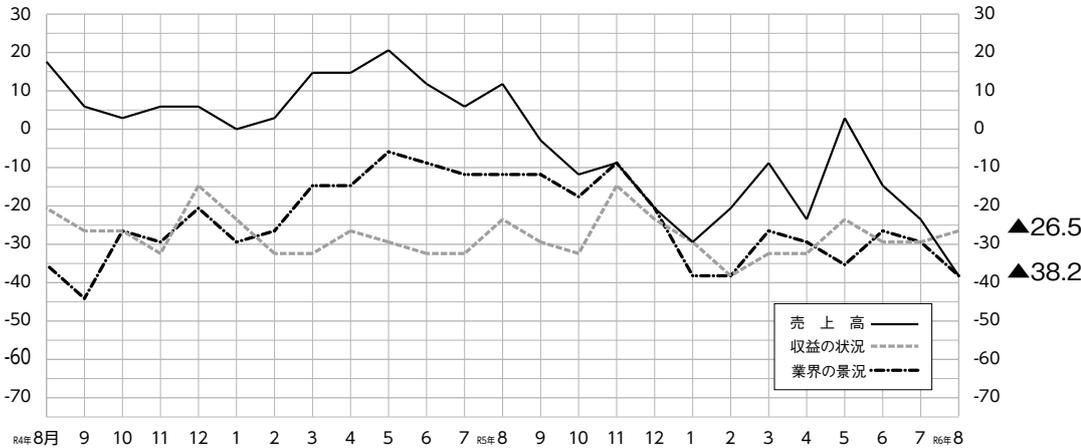
高知信用金庫

ドットコムバンク 検索



情報連絡員報告

DI(景気動向指数)



業界の状況

- …好転
- …不変
- …悪化

	なし
--	----

	食品団地	8月度は県内外共に前年並みの商況。一部で巨大地震注意報による防災関連商品については、前年より倍増する商況であった。
	テントシート	原材料高騰分のスムーズな価格転嫁が厳しい状況が続くと思われる。イベント関連事業については、コロナ禍前に回復したように思う。
	木製品素材生産	8月は、お盆休みと台風の影響もあり出材量が減少している。丸太価格については、依然として製品の動きが悪く、全体的に弱含みで推移している状況。今後の見通しもあまり良くないが、秋の需要回復に期待。
	製紙（家庭紙）	紙製品全体では、販売量・販売金額・生産量ともに昨年同月比で上回った。その中で、家庭紙、工業用雑種紙の動きが良くなっている。
	製紙（手すき和紙）	ほぼ前年並みの横ばい状態が続いており、少し良くなったと思えば継続が続かず不安定な状態のままである。
	コンクリート製品	対前年同月比63.8%。四半期の公共事業の発注が少ない影響と思われる。来月から通常に戻る見込み。
	刃物製造	価格の改定（値上げ）の関係か、若干受注が少なくなってきたように感じられる。しかしながら受注残はまだ多く早期の納品を生産者に促していき、売上を伸ばしていきたい。
	機械団地	原材料価格や人件費の高騰に見合う収益の確保が難しい中で、老朽設備の改修等により生産性向上に取組む事業所がある。団地内の業況に特段の変化は見られない。
	船舶製造	受注・売上ともに引き続き順調。
	珊瑚装飾品製造	8月度の取引額は前年同月比53%となり、4カ月連続で前年を下回った。
	青果卸売	入荷状況(前年同月比)について、野菜:数量96%・キロ単価108%、果実:数量95%・キロ単価115%。キロ単価の昨年対比は野菜・果実ともに7月よりも大幅に上昇。販売高の面からみると、7月よりは昨年対比で回復しているものの、数量的よりも単価の上昇によるものと考えられる。
	生鮮魚介卸売	地震とゆっくりの台風がお盆の時期に重なり、かなり売上に影響があった。カツオは順調に入荷している。
	各種小売（土佐市）	8月の2大祭りの「宇佐港まつり」は、南海トラフ臨時情報発令のため11/9(土)に延期になったものの、「大網まつり」は開催され、多くの人で賑わい市内にも活気が戻った。
	中古自動車小売	先月同様の状況が続いており、収益確保に苦戦している。これから繁忙期に備えての仕入れが厳しくなることが予想される。
	商店街（高知市）	駐車場状況について、利用台数は前年の92.5%(▲1,960台)、料金収入は前年の97.4%(▲261千円)となった。第71回よさこい祭りが8/9(金)～8/12(月)まで開催されたが、8日に南海トラフ地震への注意をよびかける臨時情報の影響もあり、よさこい祭振興会の調査結果では人出が約2割減となった。また、台風10号の影響により30日は商店街のほとんどの店舗が臨時休業となり、8月の商店街への来街者は少なかった。

	商店街(四万十市)	土曜夜市は天気も良く盛況だった。ボランティアとして、中村高校の生徒も多数協力してくれた。月末の花火大会は台風の影響もあり9/7(土)に延期となった。
	旅行業	組合クーポン前年同月対比81%、全旅クーポン合算合計前年同月対比101%。8月の地震警戒情報の影響を受け、宿泊売上が大幅に減少している。
	IT事業	売上は前年比で減少した。前月は増加していたため、今月も継続的な増加を期待していたが、本格的な回復にはまだ時間がかかりそうだ。大型案件は好調時に比べて少ない状況が続いている。来月以降は、最新技術や情報に関する教育・研修、勉強会を通じて、組合員全体のスキル向上を図るなど、本格的な単価アップを目指す取組みが急務であると考えられる。
	クリーニング	売上は単価アップと点数減で相殺され、ほぼ横ばい。エネルギー価格・資材価格上昇は続いており、価格転嫁は頻繁に行えないため、収益状況はやや減少。労働力不足は常態化しており、労働環境改善のための夏季期間の暑さ対策(稼働時間変更等)も検討材料。
	電気工事	組合員の施工する電力引込線工事量は、前年同月比240.3%となった。高知中央地区が303%、香長地区が282%と大幅に増加した。
	タクシー	実働1日1車当りの前年同月比運送収入:104.3%、輸送回数:98.2%、実働率:50.4%。国土交通省より、高知県でも「日本版ライドシェア」を導入してほしいとの要請を受け、高知県7つの交通圏の中で高知市を含む6交通圏でライドシェアが開始すると思われる。この開始によって、一般のライドシェアを阻止しようとしている。
	酒類製造	ほぼ前年水準で数カ月横ばい状態である。消費の回復は依然厳しい状況。好調なインバウンドに対する対応が不足していると思われる。

	製材	エネルギー・資材等の価格上昇が顕著となっており、収益面は厳しい状況。
	建具	別注建具・家具ともに大変仕事量が少なかった。かなり厳しい状況。
	印刷	5月~7月の3カ月間は好調を維持していたが徐々に売上減少、設備操業度低下という厳しい結果となった。県外需要は好調を維持しているが、一部の業界で落ち込みがあった。県内需要は全般に低調、また、台風等の影響もあり売上が次月に持ち越した影響もある。
	生コンクリート製造	8月度の全組合員の出荷量は、対前年比 95.8 %であった。また、4月からの累計出荷量は、対前年比88.4 %で 8月単月及び4月からの累計は若干増加傾向にある。地域的には、東部・嶺北及び中央地区の一部が対前年比増加傾向を示しているが、中部・高幡・幡多地区が減少傾向にある。特に幡多地区の減少傾向が顕著である。
	卸団地	お盆時期の地震注意及び月末の台風の影響により外食・観光の業界は全体的に大きくマイナスになった。原材料の値上げ、油や電気代値上げがあり、十分に販売価格に転嫁出来ず、利益が圧迫されている。暑さのせいもあり、お客様の動きが悪い。
	電気機械器具小売	8月度は全商品平均で前年比98%。省エネタイプエアコン前年比102%、大画面テレビ前年比86%だった。
	ガソリンスタンド	8月の原油価格は前半下落気味だが、後半持ち直しが見えた。補助金があるため、動きは微妙である。この1年の市況はほとんど変化がなかったが、人件費・水道光熱費、その他の経費の値上がりで利益は圧迫されており、仕切り価格に関係なく、値上げが必要となった。補助金は8月末で16.6円/ℓとかなり少なくなってきた。補助金の交付は12月までということに変わりはしない。
	商店街(安芸市)	8/24(土)に商い甲子園大会を開催。7校13チーム約100名の高校生が参加。今年のテーマは「再発見」とし、若い視点と感性で地域の魅力、商品の魅力などを再発見し、多様な販売活動を展開。今大会は、高知商業高校が初優勝した。今年は安芸市制70周年記念事業として、商い甲子園を応援する「安芸本町商店街スタンプラリー」を実施。来場者の皆様にたくさんのお買い物をして大会を盛り上げていただいた。
	旅館・ホテル	前年同月は特別に需要が高く、今年はある意味通常ベースに戻る見込みであったが、8/8(木)の南海トラフ地震臨時情報の発表以降キャンセルが続出した。9~13日頃まではキャンセル後に新規予約が入ってきたが、売価を下げざるを得ず収益は下がった。旅行先として高知県が危険という認識が広がることを懸念している。
	飲食店	当月の売上高は前月、前々月に引き続き4カ月連続で前年同月を下回った。コロナ禍以前との売上比較は約8~9割。8月は予約状況等も良く業界全体が前年度の売上を1割近く上回る見込みだったが、南海トラフ地震臨時情報と台風10号の影響が大きく、結局終わってみれば前年度を下回る結果となった。前年度同月に比べ、さらに物価は高騰。光熱費・仕入れ価格・人件費等、ありとあらゆるものが上昇しているが、顧客離れによる集客の低下の懸念から業界の価格転嫁は十分ではない。
一般土木建築工事	令和6年8月分の県下の生コンクリート総出荷量は、前月比79.5%、前年同月比95.8%、前年同月累計比88.4%。そのうち、共同販売事業に係る出荷量は69424.05㎡と全体の33.76%と低調。災害復旧工事、防災・減災対策工事、高速道路の延伸工事などの大型工事については継続しているが、高速道路の整備以外に大型工事が見込めない状況。生コンクリート販売単価については、主に賃金アップの原資として㎡当たり1,000円の値上げを5月契約分より実施。また、小型車搬送についても値上げ実施。値上げ分の積算単価反映は、経済調査会のみ9月実施。10月に物価調査会が追随する形に。また、高知市の組合再生については進行中であるが、具体的な進展は未だ見えない状況。	
一般貨物自動車運送	荷動きはお盆の連休が長期になる業種が多かったため昨年と比べても良くなったとは言えない。燃料価格は先月に続き2円程度の値下げとなったが、それでも高値であることには変わりなく、売上が伸び悩む中で収益も圧迫する状況が続いている。	

経営者・役員・従業員とそ のご家族の 安心の保障を準備する ために 中央会の共済制度を ご活用ください。

BESTパートナー
大樹生命



従業員のための 退職金準備に 特定退職金共済制度

従業員さまの定着が図られ、
安定した退職金準備が
できる共済制度です。

特定退職金共済制度 引受保険会社
大樹生命保険株式会社



経営者・従業員のための 万一の保障

団体扱生命保険

団体扱* (月払) の場合、
一般扱 (口座振替月払等) で
ご契約いただくよりも、
保険料が割安になります!

オーナーズプラン

経営者の
各種リスクマネジメントのために

パートナーズプラン

役員・従業員の皆さまの
保障準備をサポート



業務上の災害への備えに 業務災害補償保険

事業活動にかかわる
従業員さまのケガなどのリスクに
対してお役に立つ保険です。

業務災害補償保険 引受保険会社
三井住友海上火災保険株式会社
業務災害補償保険 取扱代理店
大樹生命保険株式会社



- * 団体扱とは、高知県中小企業団体中央会が団体扱としてお申し込みいただいた各保険契約の保険料を取りまとめ、一括して当社へ払い込む取り扱いのことです。
- ※ 一部対象とならない商品・契約がございますので、詳細は下記までお問い合わせください。
- ※ 詳しくは、該当の「商品パンフレット」をご覧ください。ご検討にあたっては、「設計書(契約概要)」「特に重要な事項のご説明(注意喚起情報)」「ご契約のしおり-約款」および高知県中小企業団体中央会の「退職金共済規程(規約・規則)」等を必ずご覧ください。

大樹生命保険株式会社は三井住友海上火災保険株式会社の代理店・扱者として損害保険代理店委託契約を締結しています。

お取り扱いの詳細は、下記までお問い合わせください。

大樹生命保険株式会社 高知営業部

〒780-0053 高知県高知市駅前町 1-8 第7駅前観光ビル 2F TEL:088-882-3402
<https://www.taiju-life.co.jp/>

大樹-KB-2023-432 (損保)A-2023-112 (2023.9)
R-2023-1009 (2023.9)

制作
発行



つな
人を継ぎ、組織を育む

高知県中小企業団体中央会

※組合等活性化情報誌「へんしも情報」は、環境に配慮した植物性インキを使用しております。

〒781-5101 高知市布師田3992-2 中小企業会館 4階
TEL 088-845-8870 FAX 088-845-2434
URL <https://www.kbiz.or.jp> E-mail info@kbiz.or.jp

